



BSN新潟放送の酒田暁子さんから災害時における報道局の裏側をお話いただきました。



マイ・タイムラインの作成など、見附市立今町中学校の防災学習の様子も紹介いただきました。



コーディネーター
長岡技術科学大学教授
大塚悟氏



見附市長
稲田亮氏



BSN新潟放送技術部長/気象予報士
樋ノ浦重嗣氏



BSN新潟放送 報道部長/防災士
酒田暁子氏



平成16年消防本部消防長
岡村勝元氏



平成16年青年会議所理事長
山田淳一氏



平成16年見附市中央公民館長
犬塚守明氏



現まちなか東ふるさとセンター長
北村秀子氏

パネルディスカッションでは「地域防災と住民避難」をテーマに、8人の皆様からご登壇いただき、7.13水害における気象状況や被害状況・避難状況などの実態、そして救出やボランティア活動などの支援について意見が交わされました。

最後に、7.13水害の教訓を未来に繋げ、さらなる災害に備えていくことが大切であると、まとめていただきました。

7.13水害20年プロジェクト



講演会と合わせて、屋外には照明車・給水車等の車両の展示、屋内には7.13水害時の気象状況や被害状況の写真展示も行いました。



照明車コーナーでは、リモコンで照明装置を上下させたりする体験もありました。



見附市の給水車。災害時の給水車の役割なども合わせて紹介しました。



降雨体験車では、100mm/hの降雨を体験。土砂降りの雨に皆さん驚いていました。



水路を組み立て、水を流して遊ぶアクアプレイは子ども達に大人気でした。



7.13水害の被害状況の紹介では、4mの長さの解説ボードも登場。



新潟地方気象台によるペットボトルを使いトルネードを再現する実験コーナー。



防災グッズの紹介コーナーでは、民間企業のご協力で、防災食や簡易トイレなどをご紹介します。



お昼を挟んでのイベントであったため。キッチンカーも来てくれました。



■参加者の声

あらためて日頃の準備や心構えがいざという時に重要だと感じました。連絡先の整理、対応の想定を家族と共有しておきたいと思います。

7.13水害当時被災地域で何が起こったのか、そして今後何が必要かなどがよく理解できました。特に報道の対応などが大変興味深かったです。

水害時の体験は各自で違うため、色々な人の話を聞いて初めて知ったことがたくさんありました。こういった事を伝えていくのは必要だと思います。